

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:山形県酒田市

1. 事業名	酒田市地域女性活躍推進事業								
2. 実施期間	平成29年4月20日 ~ 平成30年3月14日								
3. 事業の趣旨・目的	県内全般、特に本市の地域性として、出産により職を離れるケースが多い状況が認められる。また、妊娠・子育て期において正職員を避けパート雇用を選択する傾向も見られる。女性がキャリアを継続し活躍することにより地域社会を活性化するためには、キャリアを継続しやすい環境を整備していく必要があり、官民一体となった女性活躍の理解と普及、基盤整備を図ることが重要である。								
4. 事業内容	女性活躍のため、(1)女性が希望する職業につき活躍できる体制整備、(2)女性が安心して子育てでき活躍できる体制整備、(3)女性の活躍を促進する基盤づくりを総合的に進める。交付金の対象事業として以下の事業に取り組んだ。 ①女性活躍推進事業/職場(中小企業)、家庭(保育・介護・医療)、起業などテーマ別の分科会を設けた市民フォーラムを開催し、学びあうことにより市民意識の向上を図るとともに本市の実態把握に努めた。また、企業に対しては、女性活躍企業の成功事例の紹介、女性活躍のトップランナーの講話を商工会議所と連携して行うことにより各事業所への浸透を図った。 ②働く女性活躍促進事業(女性の就業支援情報発信) 女性の再就職のための総合相談窓口等の紹介、国、県、市の各種支援制度を紹介するリーフレットを作成し、女性の就業を総合的に支援した他、女性活躍を促進するために不可欠な事業所へ働きかけをするため同様のリーフレットの事業主向けも作成した。 ③女子高生が地域でキラリと輝く女性の先輩と語り合い、学び合うシンポジウム 地域の高校生が、地域で活躍する女性の先輩と語り合い、多様な職業・生き方に出会い、考えると共に女性の先輩の今後の活躍につなげる機会となるワークショップを開催した。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	酒田市女性活躍推進懇話会を立ち上げ、関係機関等と連携し事業を実施した結果、本市の実情を共有すると共に次年度以降の官民が連携した施策へとつなげることが出来た。また、市民フォーラムを開催したことにより、女性活躍を推進する機運が高まってきている。事業効果については、同懇話会の中で検証し、本市の次年度の施策に反映した。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	実施計画書で設定した目標値に対して、設定時の現状値から改善は見られるが、達成までには至っていない状況である。今年度把握した本市の実情に合った施策を官民連携して実施していく。								
7. 今後の課題	本市において女性活躍を推進するために課題として挙げられたものは、事業主の意識改革、働く女性自身の意識改革、家庭や地域の意識改革と意識啓発に関するものが最も大きかった。意識啓発は関係機関始め官民においてこれまでも実施してきたところであるが、重複等見られた部分もあったため、懇話会を核として連携体制を強化し実施していく必要がある。								
8. 事業の実施体制	酒田市女性活躍推進懇話会(国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田商工会議所、庄内銀行、子育て支援団体、女性農業者団体、中小企業診断士、東北公益文科大学、有識者等)								
9. 経費の内訳	(単位:円)								
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	28補正事業(補助率8/10)	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
①	女性活躍推進事業	(1)	28年度補正予算	○	752,188	602,000	0	150,188	
②	働く女性活躍促進事業	(1)	28年度補正予算	○	519,372	415,000	0	104,372	
③	女子高生が地域でキラリと輝く女性の先輩と語り合い学び合うシンポジウム	(1)	28年度補正予算	○	142,531	114,000	0	28,531	
	合計				1,414,091	1,131,000	0	283,091	
10. 担当者名及び連絡先	酒田市政策推進課 阿部典子 TEL0234-26-5704 seisaku@city.sakata.lg.jp(3月31日まで) 酒田市地域共生課 TEL0234-26-5612 chiiki-kyosei@city.sakata.lg.jp(4月1日から)								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載								

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をとって記載してください。
 注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)から選択してください。
 注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「28年度補正予算」、「29年度当初予算」、「29年度補正予算」のいずれかを記載してください。
 注4)個別事業のうち、28補正(補助率8/10)で交付決定を受けている事業は、「9. 経費の内訳」の「28補正事業(補助率8/10)」の欄に○を記載してください。
 注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。
 注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

事業実施及び連携工程表

市町村名:山形県酒田市

1. 事業実施工程表

事業番号	個別事業名	実施内容	事業目標(アウトプット・アウトカム)	実施時期												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	女性活躍推進事業	市民フォーラムや企業向けセミナーを開催し、女性活躍の意義と効果の浸透を図る。	市民フォーラム、企業セミナー参加者数200人(アウトプット)			●懇話会設置	●懇話会			●懇話会	●市民フォーラム	●企業セミナー ●懇話会			●懇話会	
②	働く女性活躍促進事業	国、県、市の各種支援情報等を記載したリーフレットを作成し広くPRする。	従業員数30人未満の事業所の女性育児休業取得率を向上させる。90%以上(アウトカム)	●リーフレット検討							●リーフレット配布					
③	女子高生が地域でキラリと輝く女性の先輩と語り合い、学び合うシンポジウム	高校生が、大学生や地域で活躍する女性の先輩と語り合い、多様な職業・生き方に出会い、考えるワークショップを実施する。	酒田市内高校からの東北公益文科大学への女性入学者数15人(アウトカム)	●実施方法検討									●実施			

2. 連携工程表

事業番号	事業・取組名(実施主体)	事業・取組内容	交付金事業との連携内容	交付金事業との連携												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	マザーズジョブサポート庄内の開設	山形県が、マザーズジョブサポート庄内を開設し、女性の就業の総合支援を実施する。	酒田市女性活躍推進懇話会で広くPRするとともに、開設に合わせ市民フォーラムを開催、リーフレットの配布を行う。									●マザーズジョブサポート庄内開設				

※2. 連携工程表には、交付金事業と連携する同一団体内で行われる事業・取組(他の国の交付金等を利用する場合は明記)、他の連携主体(協議会を構成する民間団体等)や他の地方公共団体の事業・取組を記載してください。

※適宜、行を追加してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:山形県酒田市

事業番号	①
1. 個別事業名	女性活躍推進事業
2. 実施期間	平成29年4月20日 ~ 平成30年3月14日
3. 総事業費	752,188円
4. 事業内容	(1) 市民フォーラム等の開催 職場(中小企業)、家庭(保育・介護・医療)、起業などテーマ別の分科会を設けた市民フォーラムを開催し、学び合うことにより市民意識の向上を図るとともに本市の実態把握に努めた。また、企業に対しては、女性活躍推進企業の成功事例の紹介、女性活躍のトップランナーの講話を商工会議所と連携して行うことにより各事業所への浸透を図った。
	(2) 女性活躍推進懇話会の設置及び運営 女性活躍を全市的に推進するために、関係機関、企業、学識経験者等で構成する組織を設置し、意見を伺いながら施策を検討し女性活躍を総合的に推進する。
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田市(企画振興部、市民部、健康福祉部、商工観光部)、酒田商工会議所、庄内銀行(開設当時山形県唯一のえるぼし企業)、関根近子氏(元資生堂顧問)等を委員とする、酒田市女性活躍推進懇話会を設置し、意見を伺いながら施策を検討し女性活躍を総合的に推進する。 具体的には、懇話会で協議しながら、市民フォーラムの内容等の検討、当日の運営に連携して取り組んだ。
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 周辺町の三川町、庄内町、遊佐町と庄内北部定住自立圏を形成している。協定項目として、男女共同参画推進センターの広域利用を締結していることから、女性活躍に関する各種事業(フォーラム、企業セミナー)も広域事業として取り組んで広域的に効果を発揮させる。具体的には市民フォーラムの周知等に連携して取組み広く参加者を募ることが出来た。
・交付金事業間連携、他施策との連携 市内の女性活躍に関する関係団体等が懇話会の中で本市の現状や課題を共有しながら事業を検討し実施した。女性活躍には事業主の意識啓発が必要であるとの認識から制度等の周知を図るリーフレットは女性向けだけでなく事業主向けも合わせて作成し相乗効果を図った。また、本市のまちづくりの中核とする東北公益文科大学との連携による「大学まちづくり」と関連し、同大学、酒田光陵高等学校、市との三者連携協定を生かしたワークショップでは、働く女性自身の意識啓発を図ると共に、高校生、大学生のキャリア教育や地元定着につながるような地元を再認識するきっかけとなる複合的な効果が生まれた。	
5. 事業効果及び効果検証の概要	女性活躍推進懇話会を通して市民フォーラム等の活動を行ったことにより、本市における女性活躍推進の機運が高まってきているが、懇話会においては、取り組みは始まったばかりであり、継続して実施していく必要性が上げられている。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	市民フォーラムと企業向けセミナー合わせて500人の参加者を得、目標200人を大幅に達成したことは、関係機関等との連携の成果だと評価している。
7. 今後の課題	本市においては、20歳～39歳の若い世代の女性が働くことに対して自信がなかったり、不安を感じている割合が高いことから女性のスキルアップや再チャレンジを支援するような取り組みが求められている。女性活躍推進の取り組みは、端緒にすぎないばかりであり、関係機関等との連携をさらに深めながら、本市の実態に即した施策展開を図って行く必要がある。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2) 本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:山形県酒田市

事業番号	②
1. 個別事業名	働く女性活躍促進事業
2. 実施期間	平成29年4月20日 ~ 平成30年3月14日
3. 総事業費	519,372円
4. 事業内容	市として新規に取り組む育児休業代替職員雇用助成事業をはじめ、国、県、市の各種支援情報等を記載したリーフレットを作成し広くPRした。受け手に対して効果的に周知を図るため、事業主向けと働く女性向けと2種類作成し、それぞれ配布に当たっては関係機関等と連携して実施した。
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 酒田商工会議所、酒田ふれあい商工会及び酒田市女性活躍推進懇話会と連携し、関係事業について周知を図った。具体的には、懇話会においてリーフレットの対象や内容等協議し、より対象者にわかりやすいリーフレットを作製した。また、配布に当たっては、事業主向けは商工会議所等と連携し、同所広報紙に折り込む等連携して実施した。
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 山形県と連携し、広く制度の周知を図った。本市独自の支援事業である育児休業代替要員雇用助成金については、助成対象として「山形いきいき子育て応援企業」への登録を選択肢の一つに設け、相乗効果を図った。また、国と県が共同で開設したマザーズジョブサポート庄内の開設に合わせて周知を開始し、連携した取り組みを展開した。
・交付金事業間連携、他施策との連携 市のみではなく、国、県の就業、雇用の支援制度を一覧化し広く周知を図ることにより、就労の継続、再就職へ効果が見込まれると共に、育児休業取得への理解促進などにも繋がるものである。	
5. 事業効果及び効果検証の概要	対象を絞ってリーフレットを作成したことにより情報が伝わりやすい効果があった。しかしながら、懇話会において、本市では小規模事業所が9割を超えるため、個々の事業所への周知にはまだ課題が見られるとの指摘も受けている。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	従業員30人未満の事業所の女性育児休業取得率(山形県労働条件等実態調査による。山形県全体のデータ)は78.1%であり、目標設定時の66.7%よりは上昇したが、90%の目標は達成できなかった。リーフレットによる周知のみならず、他の周知方法等を検討する必要がある。
7. 今後の課題	対象者に合わせたわかりやすい制度説明のリーフレットの作成は、今後も取り組んで行く必要があるが、本市の大半を占める小規模事業所のそれぞれの事情に合わせた働きかけが求められている。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:山形県酒田市

事業番号	③	
1. 個別事業名	女子高生が地域でキラリと輝く女性の先輩と語り合い、学び合うシンポジウム	
2. 実施期間	平成29年4月20日 ~ 平成30年1月17日	
3. 総事業費	142,531円	
4. 事業内容	平成28年8月に、全国的にも珍しい地域私大(東北公益文科大学)・県立高校(酒田光陵高等学校)・地元自治体(酒田市)の三者で締結した連携協定を軸に、地域の女性活躍人材に光を当てるとともに、地域の高校生が、大学生や女性先輩と語り合うことで、多様な職業・生き方・進路に出会い、気付き、学び、考える機会を創出した。また、地域で活躍する女性にとっても気付き、学び、考える機会にするとともに、市内高校から公益大への進学、市内高校生の地元定着&回帰のきっかけとなることをねらいとして実施した。	
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	当該事業は、地域志向の教育を推進する東北公益文科大学との連携により実施した。また、公益大が主催する「地域共創コーディネーター養成プログラム」の修了生の協力を仰ぎ、商工会議所青年部や福祉団体等にも呼びかけ、今後、地域において核となるような人材を参加者として募った。
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	庄内北部定住自立圏を形成している庄内町、三川町、遊佐町と連携し、人材の派遣を検討してもらった。
	・交付金事業間連携、他施策との連携	当該事業は、本市のまちづくりの中核とする公益大との連携による「大学まちづくり」と一体として進める女性活躍施策である。また、同大学と県立高校と市との三者連携の取り組みと合わせて進めることにより、女性活躍の推進と共に若者の地元定着と回帰のきっかけとするものであり、複合的な効果を狙っているものである。
5. 事業効果及び効果検証の概要	事業実施後のレポートで女性の先輩にとっては、自分のキャリア等の振り返りになったことや他業種の女性との出会いにより新たな気付きになった等今後の活躍が大いに期待される効果が見られた。また、高校生や大学生にとっても地元で生き生きと働く女性を知ることで地元の良さや働くことの意義などを知る貴重な体験となった等相乗効果が見られた。懇話会においても、本事業は重要であるとの認識が示されている。	
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	この事業を実施することにより、地域の女性の活躍を図ることが目標であるが、そういった地域の女性の活躍が高校生の地元志向につながるものとして目標を地元大学への女性の進学者数としている。今回目標15名に対して10名となり目標を達成できなかったが、今後も地域の女性の活躍を進めると共に、高校生の地元定着等を図っていきたい。	
7. 今後の課題	女性活躍を推進するためには、女性自身の意識啓発を図ることが重要である。そのためにセミナー等の実施のほか、自らのキャリア等を地域の高校生に自ら語るという能動的な本事業は、女性の意識啓発に大きな効果が見られた。この取り組みは市内で働く女性同士のネットワーク化にもつながることから、継続して実施していくことが重要である。	

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。